



# 学校だより

5月号



令和3年4月30日  
横浜市立能見台南小学校

← 学校ホームページ  
QRコード

## 大切にしてほしい「あ」「い」「う」

校長 榊原 一紀

新年度になって約1カ月が経ちました。この期間に、たくさんの素晴らしさに出会いました。登校の様子を見に通学路に出たときには、早い時間から子どもたちのために見守りしてくださる学援隊の皆さんの姿。休み時間には、子どもも先生も一緒になって校庭で鬼ごっこや縄跳びにチャレンジしている様子。また、校内巡視のときには、子どもからのサプライズ「メダル」のプレゼントに感動しました。素敵な学校に来たと感じているところです。

4月7日の始業式では大切にしてほしい「あ」「い」「う」の話をしました。

**「あ」はあいさつ。** あいさつを返してもらえるととても気持ちが良いです。気持ちの良いあいさつがあふれる学校にしてほしいという気持ちを込めて伝えました。

**「い」は命を守る。** 普段であれば交通安全のことなのですが、今は感染予防対策です。手洗いやマスクをすること、密にならない行動をすることで自分だけでなく周りの多くの人の命を守ってほしいと伝えました。

**「う」は美しい心。** 困っているときに思いやりの言葉をかけてもらえると嬉しいです。そんな声をかけられる美しい心を育ててほしい。反対に、いじわるやいじめをする汚い心は無くしてほしい。また、いじめをする人は絶対に許しませんと伝えました。

現在、新型コロナウイルス感染症が再拡大し、医療現場がひっ迫し、ICU（集中治療室）で治療されている方が多くいるそうです。自分自身も、心臓手術の後にICUで術後の管理をしていただいた経験があります。術後ですから様々なところが痛い。体力が消耗しているので体どころか頭も動かさない。苦しい2日間でした。ICUで働いている方々は、体調を確認したり、薬を管理したり、座っている時間がないほどの仕事量で忙しそうです。そんな中でも、いろいろと私に話しかけてくださいます。痛みで時間が長く感じる中、その何気ない話が、痛みや気持ちを和らげてくれました。たった2日間でしたが、患者さんが笑顔になれるように使命感をもって働いている姿に頭が下がりました。

命と向き合っている医療従事者の方々は、大変苦しい思いをしていると聞きます。

「い」に込めたのは、みんなが笑顔になれるよう一人ひとりが改めて感染予防に気を付けてほしいという願いです。今回、横浜市がまん延防止等重点措置の対象地域になったことで、授業参観もやむなく延期しました。今後も、変更等によってご迷惑をおかけすることがあると思いますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。